

妖怪怪物

国や時代を問わず、人間の文化や暮らしの中に寄り添ってきた存在、それが“怪”である。

恐怖や畏れだけでなく、希望、戒め、祈りなど。人間の感情と想像力が交わるところに、いつの時代も怪異は生まれてきた。

それらはただの物語ではなく、人間が世界をどう捉え、何を恐れ、何を求めて生きてきたかを映し出し、先人が残し伝えてきた文化の記録ともいえる。

気づけば、あなたもその怪の世界へ足を踏み入れているかもしれません。境界の向こうで何が待つのか…知りたいと思いませんか？



KAI Archive

- | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------------|---|----|------------------------|---|----|--------------------|---|----|------------------|--|
| 1 | JAPAN
幽霊 |  | 11 | JAPAN
海坊主 |  | 21 | JAPAN
飛縁魔 |  | 31 | JAPAN
ぬっぺふぼふ |  |
| 2 | ENGLAND
ゴースト |  | 12 | NORDIC
ハーヴグーファ |  | 22 | TANZANIA
ポポバワ |  | 32 | AMERICA
スクオンク |  |
| 3 | JAPAN
山姥 |  | 13 | JAPAN
座敷童子 |  | 23 | JAPAN
なまはげ |  | 33 | JAPAN
酒呑童子 |  |
| 4 | BRASIL
クカ |  | 14 | GERMANY
ハインツエルメルヒエン |  | 24 | RUSSIA
キキーモラ |  | 34 | INDONESIA
ランダ |  |
| 5 | JAPAN
産女 |  | 15 | JAPAN
毛羽毛現 |  | 25 | JAPAN
鶴 |  | 35 | JAPAN
ろくろ首 |  |
| 6 | MEXICO
ラ・ヨローナ |  | 16 | AUSTRALIA
ヨーウィー |  | 26 | GREECE
グリフォン |  | 36 | THAILAND
ガスー |  |
| 7 | JAPAN
天狗 |  | 17 | JAPAN
花子さん |  | 27 | JAPAN
河童 |  | | | |
| 8 | ARAB
ジン |  | 18 | AMERICA
ブラッディ・メアリー |  | 28 | NORDIC
ノツケン |  | | | |
| 9 | JAPAN
付喪神 |  | 19 | JAPAN
妖狐 |  | 29 | JAPAN
化け猫 |  | | | |
| 10 | GERMANY
ポルターガイスト |  | 20 | AMERICA
スキンウォーカー |  | 30 | ITALY
ガット・マンモーネ |  | | | |

死と理解 するために

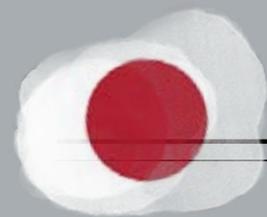


怖 いものといえば、真っ先に浮かぶ人の残り香のように、かつて残されている。幽霊は、ただの怪談で愛情の未練や怨念といった心の奥の感霊とは、国や文化が違っても必ず訪れ怖を共有しているからだ。死別の悲し姿や物語の違いを超えて各地の幽霊を人間の心が産んだ物語である。

ぶのは幽霊だろう。どの国にも死んで生きていた者たちの影が物語としてはなく、人間が抱く不安や罪悪感、情が形になった存在ともいえる。幽る普遍的な怪異だが、それは同じ恐み、未練。こうした人間共通の感情、生み出してきた。つまり幽霊とは、

本書の楽しみ方 1
国は違えど、同じような特徴を持つ妖怪・怪物を日本（左）海外（右）で回避して紹介し、それぞれの特徴や起源を比較し、共通点や関連性を解説しています。





JAPAN

ゆうれい

幽霊

本書の楽しみ方

2

次のページでは、日本の妖怪を紹介し、生まれた時代背景や由来、特徴や脅威度といった内容を紹介しています。

KAI

No. 1

青白い影が揺れるたび 怪談は生まれ続ける

怨念や無念といった強い感情が形を成した存在として語られてきた。死んでもなお晴れない思いや理不尽な最期を迎えた者たちの心が、この世に残り続ける。そんなネガティブな感情の具現化として、人々は幽霊を認識してきたのである。

特に江戸時代には怪談ブームが起こり、幽霊は恐れられるだけでなく、物語・浮世絵・芝居などの娯楽として広く消費される存在になった。四谷怪談、お菊、牡丹灯籠など... そのどれも「女性の怨み」が象徴として描かれた。その影響から、日本の幽霊像は一定の様式をもったビジュアルへと定着していく。青白い肌、乱れた長い黒髪、白い和装、足がない影のような姿。これらは単なる怖がらせの演出ではなく、死の不条理や女性の悲劇を象徴するために磨かれていった図像だ。

江戸時代から現代の怪談ブームにまで引き継がれ、恐ろしくも哀しい存在として、今も生き続けている。

流行
江戸時代

特徴
宙に浮く体

脅威度





ENGLAND

ゴースト

Ghost

KAI
No. 2

恐怖と好奇心が交差する イギリスの幽霊譚

無念の死者が現れるのは言わずもがな、他にも処刑された王族、恋人を待ち続けた娘、戦場で倒れた兵士、罪悪感に囚われた修道士など、その背景や素性は非常に幅広いが、何百年も人が暮らし、争い、裏切りを経験してきた土地や建物そのものが、過去の気配を抱え続けていると信じられてきた。

イギリスの幽霊は、多様な姿で現れる。白装束の女性、全身黒づくめの修道士、生前の姿そのままの兵士や騎士、半透明の影など、そのバリエーションは多岐にわたる。こうした姿は、幽霊となった人物の死に方や時代背景、階級、職業などが反映された。今回はロンドン塔で幽閉されていた貴族の女性の霊をイメージして描いた。

イギリスでは幽霊話やオカルトへの関心が非常に強く、もともと敬遠されるはずの事故物件でさえ、幽霊譚の力によって価値が上がり、普通の家より高額で取引されることもある。

Origin
London
Visual
Various
Threat Level

本書の楽しみ方 ③
続くページでは、対比する海外の妖怪（怪物）を取り上げ、それが生まれた国や文化の背景や特徴、脅威度を紹介しています。



人を喰らう 老婆たち

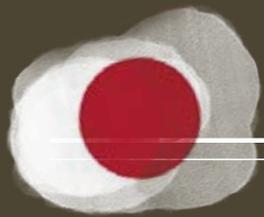


この二つの妖怪は、どちらも
こ
て描かれる。特に子供を食
が、それは当時のいたずらっ子へ
効果もあつたのだろう。女性の妖怪
方が愛情深く、子供に対してより強
あるのではないだろうか。また危険
生の知識を物語に組み込み、強く記
怪の姿が用いられたとも言える。こ
がらも、人々の記憶に残り続けてき



「人を喰らう」要素を持ち、老婆とし
べるという残酷な伝承が残っている
の戒めや躾のために語られた教育の
となつているのは、当時から母親の
い影響力を持っていたことが背景に
な山や森、あるいは子供の安全や衛
憶に残る形で伝える手段として、妖
うして恐ろしい存在として描かれな
たのであろう。





JAPAN

やまんば

山姥

KAI
No.3

出没

山

類

人間に近し

脅威度



優しく招き入れ、血肉を喰らう 山の老婆

山の中で迷った旅人や子どもを招き入れ、寝床や食事を与えてくれる心優しい老婆。しかしその優しさは偽りであり、優しくもてなしたあとにやがて彼らを騙して食い殺してしまうと言われている。

凶悪な実態とは裏腹に、見た目は案外普通の老婆として伝えられているのは、かつて日本のある村で実際にあった「姥捨て」という、老いて動けなくなった親を山に捨てていた痛ましい風習から、本物の老人、またはその怨念が襲ってきたものではないかという説がある。また西洋にも「魔女」として同じ言い伝えが残っている。

こうした背景を踏まえると、姥捨てという残酷な風習が実際に行われていた土地で生まれた妖怪として、襲われる側にもある種の因果応報があったのかもしれないと思わせる。





BRASIL

クカ

Cuca



眠らぬ子供を攫い、喰うために
クカがお前を迎えに来る

イタズラをする子どもを食べる、ワニのような姿をした老婆の妖怪。

親が子供の教育の一環として、怖がらせてしつける手段に用いることが多く、クカに攫われた子供は二度と戻ってこないと言われている。クカはヨーロッパの、ポルトガルやガリシア地方の「コカ (Coca/Coco)」という伝説がブラジルに伝わり、植民地時代に南米に移住したポルトガル人が持ち込んだ恐ろしい妖怪譚が、現地の民間信仰と融合することで現在の姿に変化した。

ブラジルでは非常に有名な怪物で、「A Cuca te pega (クカがお前を捕まえるぞ)」という、彼女を題材にした歌もよく知られている。子供を脅かす存在として語り継がれたため、子供たちの認知が広まり、結果として耳に残りやすい音楽がブラジル人に親しまれるようになったのだろう。

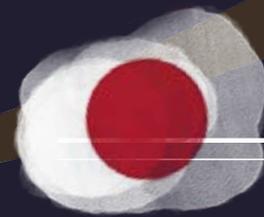


子供への 罪悪感



母 という存在は子どもにとつ
うぶめ
である。しかし産女やラ・
て、歪んだ形で残されている妖怪
ヨローナは子を奪う母として描か
を表現している。子どもを思う気
つが故に、子を最後まで育てるこ
承に残されている。もし彼女たち
悲しみを感じてしまうかもしれな

て、最も強い愛情をもつ象徴的な存在
ヨローナのように母性が執着となつ
もいる。産女は子を託す母として、ラ・
れ、いずれも母性の持つ悲しい二面性
持ちはどここの国の母親も同じ感情を持
とが出来なかつた無念の母親として伝
に出会うことがあれば、恐怖よりも
い...



JAPAN

うぶめ

産女



難産による後悔から、母が赤子を抱いてもらうまで追いかけ続ける

難産のため子供に会えないまま亡くなってしまい、この世に強い未練を残したまま取り残されたために川辺を彷徨う母親の妖怪である。

その後悔の念から、道行く人々に「これを抱いてくれ!...これを抱いてくれ!!」と声をかけながら追いかけてくる。産女に言われるままに抱いた赤子は次第に重くなり、やがて石などに変化してしまうという。しかし一方で、逆に偉大な力や富を得られるという良い意味合いの言い伝えも残っている。

この産女を描いた絵は、言い伝えの多様さを反映して様々な作家によって描かれているが、その中でも月岡芳年の「幽霊之図 うぶめ」は群を抜いて恐ろしく、リアルでありながらも美しく、母の姿を印象的に描き出している。



月岡 芳年 (1839 年 ~ 1892 年)
「幽霊之図 うぶめ」



MEXICO

ラ・ヨローナ

La Llorona



泣きながら探しているのは
自分で殺めた還らぬ我が子



ある時、村に住む美しい女が裕福な男と結婚し、二人の子を授かり幸せに暮らしていた。しかし夫が他の女と浮気をしてしまう。嫉妬に狂った女は怒りに身を任せ、子供を川で溺死させ、さらにその罪悪感から自らも川に身を投げて死んでしまった。

ラ・ヨローナに出会ってしまったら、死んだ我が子の代わりとして連れ去られてしまうと伝えられている。メキシコのソチミルコにはラ・ヨローナの像があり、子供たちに夜中に水辺に行かないよう注意を促す母親のような役割があるそうだ。恐ろしい存在でありながら、母であることに変わりはなく、子供たちを水難から守る妖怪になっている点が興味深い。

彼女をメインにした『ラ・ヨローナ～泣く女～』（2019年 米）というホラー映画があったり、あの有名な『リメンバー・ミー』（2018年 米）の劇中歌の名前にもなっているほど有名で広く知られている妖怪である。

善人なのか 悪人なのか

JAPAN

TENGU

天狗

善

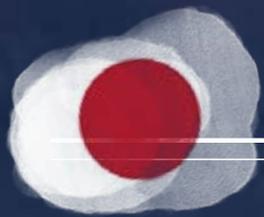
にも悪にも傾く二面性を持つ備えている点で共通している。なる超自然的な力の表現ではなく、を映し出す鏡のように感じられる。の抱える矛盾や葛藤が、怪物たちのれない。なぜ私たちは、善悪どちらか。なぜ人間に似た怪物を恐れ、天狗やジンは、理解しきれない力や理た人間の心の産物なのかもしれな

ARAB

ジン

Jinn

右、同時に人間に近い容姿や感情をこの妖怪。彼らの行動や性格は、単むしろ私たち人間自身の心のあり方嫉妬や高慢、善意や思いやり。人間姿や行動に投影されているのかもしにも傾く存在を想像するのだろうか。時に畏敬の念を抱くのだろうか。天想、あるいは恐怖そのものを形にしい。



JAPAN

てんぐ

天狗

KAI
No. 7

山に潜み

神と怪異のあいだを静かに歩む影

天狗は、人に似た姿をしながらも、しばしば神に近い力を持つと語られてきた存在だ。その起源は中国にあり、本来はその名前からわかる通り「天から落ちる犬」のような怪物を指していたが、日本では山岳信仰や修験道と結びつき、現在の人型の天狗へと姿を変えていった。

天狗の行いは善悪に定まらない。旅人をさらったり、高慢な人間を懲らしめたりする一方、山を守る霊として信仰されることもある。その振る舞いは、山の厳しさと恩恵を象徴するかのようだ。また、天狗は一種類ではない。鳥の姿を残す鳥天狗、長い鼻を持つ大天狗、そして源義経に兵法を教えたとされる鞍馬山（そまやま）の僧正坊など、地域によって多様な姿を見せる。

人を試し、時に導く。天狗は、日本の山に根づいた畏れと敬意そのものといえる怪異である。

出没
山

類
人間に近し

脅威度





ARAB

ジン

Jinn



人々の願いを 叶えるのか、惑わすのか

アラブ世界において、ジンは魔神という存在。その起源はイスラムの教えからコーランでも認められている、人間よりも先に、無煙の炎から創られた存在として登場するが、容姿、生態は人間に近い魔神だ。

彼らは人間と同じように思考し、喜怒哀楽を持ち、善にも悪にもなりうる。砂漠の風を操り、姿を変え、時に人を惑わせるが、一方で契約や願いの成就に関わる超自然的な力も備えている。ジンはときに人間に憑依すると考えられており、憑かれた者はマジヌーン (Majnūn) と呼ばれ、善良なジンが宿れば聖者となり敬われる一方、邪悪なジンに支配されれば狂人となって恐れられる。ジンにも多様な種類が存在し、最も強大とされるイフリート、水や廃墟に宿るマリド、人里に紛れるシャイターンなど、地域や文献によって大きく姿を変える。

人間と同じように暮らしているその姿は、どの世界の怪異もまた、私たちと同じように静かに苦勞を抱えているのかもしれないと思わせる。



未知の力で物を動かす

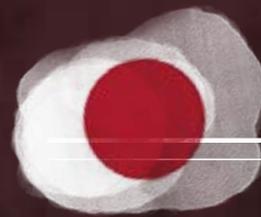


ひ とりでに物が倒れたり、置か
信じていない人でもヒヤツと
の恐怖の始まりとしてこれらの演出
特有の物に精神が宿るといふ考え方
な存在が要因だと言われている。化
じる現象を、人間たちはこのように
来たのだ。遠く離れて、文化や歴史
る対象が同じなのはなかなか興味深



れている物が動いたり、オカルトを
した経験はあるだろう。ホラー映画
はよく使われてきた。^{つくもがみ}付喪神は日本
から、また西洋ではシンプルに霊的
学的に説明がつかない違和感を感じ
妖怪や怪奇現象の仕業として扱って
が異なる国でも、人間が怖いと感じ
い。

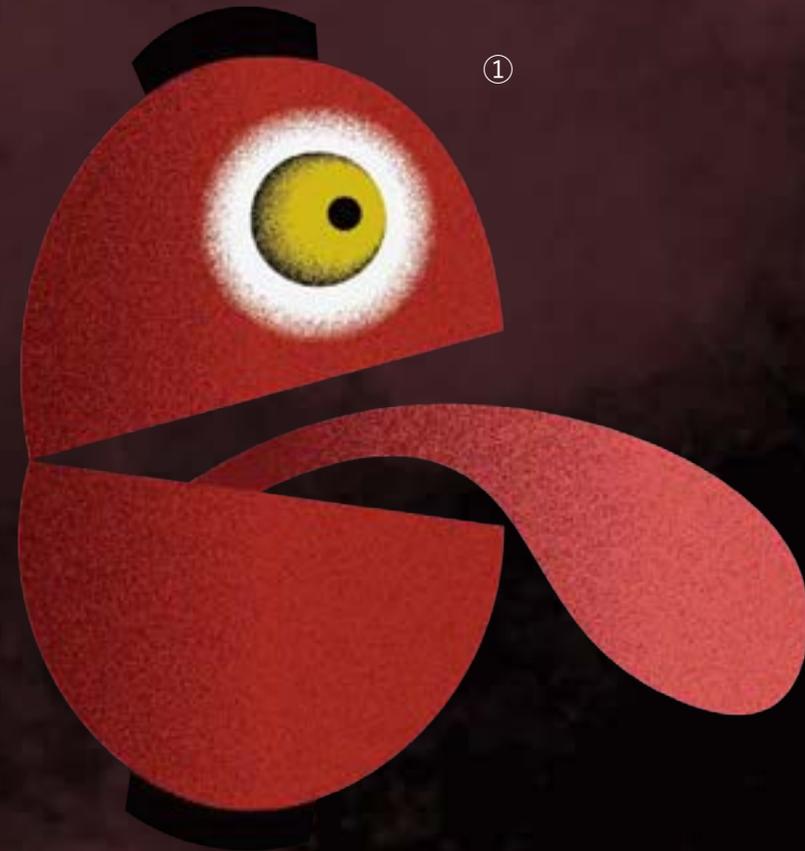




JAPAN

つくもがみ

付喪神



KAI
No. 9

出没
街中

類
精霊

脅威度



99年生きた道具に宿る魂 粗末に扱った者にはイタズラを仕掛ける

長い年月をかけ、道具に魂が宿り人に対して悪さをする。九十九神とも書くことができ、99年を長い年月の積み重ねと表している。

室町時代に『百鬼夜行絵巻』の中でこの付喪神が宿った道具が沢山描かれており、その中でも①提灯お化け②鳴釜をここでは取り上げた。有名な物だと唐傘お化け、一旦木綿も付喪神の一種とされる。当時は技術が発展し始め、新しいものが出ると以前使っていたものをすぐ捨ててしまうことがあり、こうした”もったいない”という精神から、ものを粗末にしない、大切に扱うことの意識づけからこの付喪神の発想が生まれたのかもしれない。

また、日本の人々は物には心が宿ると信じる自然信仰の感覚を持っており、これが付喪神の考え方と深く結びついている。次々と新しいものが生まれる現代だからこそ、先人たちの教えから我々も学んでいくことがある気がする。

GERMANY

ポルターガイスト

Poltergeist

KAI
No.10

Habitat
Houses etc...
(建物内)
Type
Spirit (霊)
Threat Level
○○○

触っていない物が勝手に動きだす あらゆるホラーの定番演出

誰も触れていないのに物が動く、落ちる、電気が消える、扉が開く ... などといった説明ができない現象のこと。実は語源は英語ではなくドイツ語で「poltern = 騒ぐ」「geist = 霊」という意味から生まれた言葉。

ポルターガイストの中でも特に有名な事件が、1997年イギリスで起きたエンフィールドのポルターガイスト事件。ある家族の家で、ポルターガイスト現象が起き、警察や研究者、新聞記者までが調査に訪れ、更に『死霊館 エンフィールド事件』(2016年米)として映画化もされた。

ポルターガイストのような現象は YouTube の動画 にも多く見られるが、海外の映像は日本と比べて動きが非常に激しい。物が吹き飛んだり家具が転がったりと、その荒々しさは「勝手に物が動く」という許容範囲をはるかに超えている。もし興味がおありの方はぜひご覧いただきたい。

KAI note ①

日本とアメリカの幽霊探知機について

ばけたん WARASHI

周囲に満ちる電磁波や静電気のわずかな揺らぎを拾い、近くに何かがあるかを光で知らせてくれる、小さくて可愛い探知機「ばけたん」。センサーの色は●→●→●→●→●へと変化し、赤に近づくほど、この世ならざる気配が強まっていることを示す。本格的な心霊スポットでの使用というよりは、オカルト好きの間で可愛いオカルトグッズとして楽しまれることが多い。



株式会社ソリッドアライアンス
ばけたん WARASHI
価格：約 5,400 円

スピリットボックスは、AM/FM ラジオの周波数から断片的なノイズや電波を拾い、霊の声とされる音を聞き取るための装置。トランシーバーのような外見をしているが、その内部では常に周波数が高速に切り替わり、雑音の中から言葉のような音が浮かび上がることがある。心霊番組や海外のゴーストハントでも頻繁に使用され、心霊スポットでの調査においては定番の機材のひとつ。



スピリットボックス
価格：約 16,400 円

スピリット ボックス Spirit Box



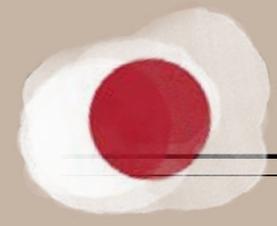
さあよ 海を彷徨う 巨大生物



海には様々な危険が伴う。この
てを呑み込み船を転覆させる
が、その正体については、鯨を妖怪
る。現代でも危険が伴う海での活動
しいことであり、更にそこに太刀打
怪物と見間違えるのも無理は無かつ
なる恐怖話ではなく、海の危険性を
育的役割も担っていたと考えられる。
りや漁師は自然に敬意を払い、警戒

2つの妖怪はどちらも巨大な口で全
といた人々に恐怖を与える存在だ
や怪物と見間違えた説が濃厚であ
は、昔の人からしたらもつと恐ろ
右できないほど巨大な何かがあれば
ただろう。また、こうした伝承は単
子孫に伝え、航海の心得を教える教
怪物としての姿を描くことで、船乗
を怠らないようになったのである。





JAPAN

うみぼうず

海坊主



荒れた夜の海に降臨する巨大な影 漁師たちの天敵

荒れた夜の海に突如現れる巨大な黒い影として、特に当時の漁師たちの間で恐れられてきた存在。船を転覆させたり、出会うと不漁になるなどと言った不吉な妖怪である。

その正体については諸説はあるが、クジラの死骸という説が有力である。海に漂うクジラの死体は、腐敗によって体内にガスが溜まり、やがて膨張して巨大化する。荒れた夜の海や霧に包まれた海面にその姿が浮かび上がると、黒く丸く膨らんだ腹がまるで海面から現れた巨大な怪物のように見える。遠くからそれを目にした漁師たちは、正体の分からない恐怖と不吉な予感を重ね、海坊主という妖怪として語り継いだのではないかと考えられる。

科学的知識の乏しかった時代、未知なる海への恐怖と想像力が、こうした妖怪の姿を生み出したのだろう。





NORDIC

ハーヴグーヴァ

Hufgufa

KAI

No.12

Habitat

Sea (海)

Size

Unknown (未知数)

Threat Level



北欧の海に潜む幻の巨大生物 口を開けば、海そのものを飲み込む

北欧神話や古代の航海伝承に登場する海の怪物。大きな口で誘き寄せた魚や船を一気に飲み込むため、日本の海坊主同様に恐怖の怪物として恐れられてきた。

霧の中で見える巨大な影や渦潮のような動きを、この怪物の仕業と考えられている。伝承によれば、ハーヴグーヴァはあまりに巨大なため、島と見間違えられるほどで、また体表面には貝殻などの付着物もあったと記されている所からも、こちらやはり鯨説に信憑性が増す。しかも 1658 年に描かれたハーヴグーヴァの頭にはまさに潮を吹く鯨のような描写が見られ、非常に興味深い。

現代では、科学的な知識も広まり巨大な海の生き物を見れば「鯨だろう…」とすぐに納得できる。しかし、海の知識が乏しかった古代の人々にとっては、正体の分からない巨大生物は想像を超える恐怖の対象だったに違いない。



1658年 ハーヴグーヴァ



幸福をもたらす小さき者

JAPAN

ZASIKIWARASI

座敷童子

小

さな子供の姿をした存在は家
れる。座敷童子もハインツエ
ることはないが、家の中で人々の暮
いもの = 純粹で無垢なものが家に宿
した信仰が見える。国は違えど、家
た点に、福を求める人間の共通した
労働や家事、日々の営みを助ける
人々は目に見えないカに日常の希望

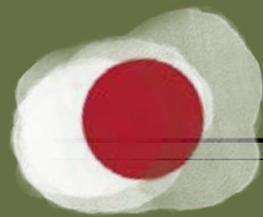
GERMANY

ハインツェルメルヒェン

Heinzelmännchen

庭内の幸福や平和の象徴として表さ
ルメンヒェンも、ほとんど姿を見せ
らしを見守る存在。そこには「小さ
ることによって幸せが訪れる」という共通
庭の中に福をもたらす妖怪を想像し
願いが垣間見える。この類の存在は、
理想像としての役割も担っている。
や福を託したのである。





JAPAN

ざしきわらし

座敷童子

KAI
No.13

古い家に住み着き、幸運をもたらす 子供の姿をした守り神

岩手県を中心に東北地方に登場する、人々に福をもたらす子どもの妖怪。イタズラ好きでなんとも子どもらしい笑い声や、廊下を駆け回るような足音が聞こえ、その姿を見た家は栄えるが、座敷童子が去ってしまうと幸運が途絶えてしまうと言う。

可愛らしい伝承だが、実は昔、貧困で「口減らし」として子供が殺されることも珍しくなかったため、裕福な家では子どもを多く育てることができたのに対し、貧しい家では子どもが少ないこともあった。座敷童子は子どもが多く住む家＝繁栄する家の象徴として描かれた悲しい理由がある。

岩手県の「緑風荘」ではこの座敷童子が住み着いているとされる旅館に宿泊できる観光が人気である。一泊約2万円～とさほど高くない値段で泊まることができる。





GERMANY

ハインツェルメンヒェン

Heinzelmännchen

KAI
No.14

夜中にコソコソ動き出す ケルンの人々を助けてくれる働き者

ドイツのケルンの街で働く人々が寝静まった後、家や工房に現れ、住人が眠っているあいだに掃除や裁縫、パン作りなどをこなしてくれるとても勤勉な妖精達。人間に姿を見られる事を嫌い、ただ静かに働くことが彼らの目的。

しかし、ある時彼らの姿がどうしても気になってしまった一人の人間が罾を仕掛けたことでハインツェルメンヒェンたちの怒りを買い、彼らは街から姿を消してしまった。その日を境にケルンの街では再び人間たちが働かねばならなくなったという。アウグスト・コーピッシュは1836年に発表した詩「Die Heinzelmännchen zu Köln (ケルンのハインツェルメンヒェン)」の中で、ケルンの人は怠け者で、仕事を小人たちに丸投げしているという皮肉を込めて詠っている。

今ではクリスマスマーケットの季節になると、街中にハインツェルメンヒェンの飾りが並び、姿を消したはずの彼らはケルンの象徴として街の人々に今も親しまれている。

Habitat
Workplace
(仕事場)
Type
Fairy (妖精)
Threat Level



体全身と 毛が覆う



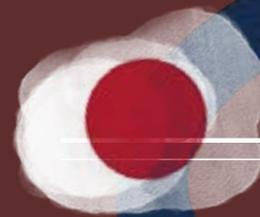
JAPAN
KEUKEGEN
毛羽毛現

身に毛があるものすれ
全身の身近な動物だろう。とくじやらの奴らが存在するのはさに全身が毛に覆われて、謎にくじやらで体毛に覆われているを表しているのかもしれない。右ながら、毛羽毛現は生活環境然の脅威として位置づけられる土地や文化の違いを浮かび上



AUSTRALIA
ヨーウイー
Yowie

は最初に想像するのは犬や猫などなれば妖怪や怪物の世界でも毛む当然かもしれない。この2体はまも包まれている存在。全身が毛むという異形なものに対する恐れ同じ毛むくじやらという特徴を持つ象徴として、ヨーウイーは大自然。その差異が、怪異が生まれがらせているともいえる。



JAPAN

けうげん

毛羽毛現



床下に潜み、人に病を運ぶ 毛むくじゃらの怪

鳥山石燕の画集『今昔百鬼拾遺』で描かれた毛むくじゃらの妖怪で、家の床下などといった陰湿な場所を好み、もし人間がそれを見つけてしまうと病気にかかってしまうという、可愛いモフモフな見た目とは裏腹に不吉な特性をもつ妖怪。

実は鳥山石燕の画集以外での情報がほとんどなく、彼が創作した妖怪なのではないのかと考えられている。また妖怪の容姿が犬に近いこともあり、当時海外から渡ってきた毛の伸び切った犬（チャウチャウや狎^{ちん}）がこの毛羽毛現となり、それを鳥山石燕が描いたのでは... という説もあり、色々考察のしがいのある妖怪だ。

自分が病気にかかるかもしれないと分かっているにもかかわらず駆け寄ってしまう容姿を持つ。まるで、犬アレルギーを抱えながらもつい犬と遊んでしまう人間のように、その愛らしさに理性を奪われてしまう対象かもしれない。





AUSTRALIA

ヨーウィー

Yowie

KAI
No.16

アボリジニから語り継がれる ユーマ 巨大なオーストラリア版獣人 UMA

ユーマ
UMA の王道であるビッグフット、イエティ、ヒバゴンなどと同様、オーストラリアにも全身が体毛に包まれ山奥に住むヨーウィーと呼ばれる獣人が存在する。身長は 1.5m から 3m あり、全身が茶色い体毛に覆われている。

ヨーウィーとして目撃され始めたのは 1970 年代入ってからだが、それ以前にアボリジニ（オーストラリアの原住民）の間で「ガバ」という名前で、このヨーウィーと特徴がそっくりな獣人の存在が伝えられていた。また 2018 年には実際にヨーウィーに襲撃され、車を押さえ付けられたという事件もあり、まるで実際に存在するようなエピソードがいくつか残っている。

オーストラリアでは有名な存在で、「ヨーウィーチョコレート」というお菓子の商品があり、中には色々な動物のフィギュアが入っている。そのパッケージではヨーウィーはポップなキャラクターになっている。



ヨーウィーチョコレート
©Yowie Group Limited



名前に反応する怪

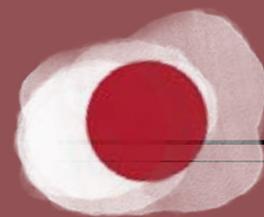


名 前を呼んだらやってくる ... 子
名前を呼ぶだけというシンプル
を呼ぶことで退散させる」「名を知る
の信仰とも深く結びついている。だか
を変えながらも語り継がれ、特に子ど
として残ったのではないだろうか。しか
のに、いざ現れた途端に悲鳴を上げて
を思うと、妖怪の側が少し気の毒にす



どもの間でよくある怪談の定番だ。
さは、恐怖を広めるだけでなく、「名
ことで支配できる」といつた人間側
らこそ、この方法は時代を越えて形
もたちにとって、試しやすい伝承と
しこちらからわざわざ名前を呼んだ
逃げ出す ... そんな子どもたちの反応
ら思えてくる。





JAPAN

はなこ

花子さん

KAI
No.17

日本人なら知らない者はいない 1940年代から語り継がれる学校の定番怪異

「花子さん、遊びましょ」と声をかける遊びは、子どもの頃にやった事がある人が多いだろう。3番目の扉を3回ノックをし、声をかけると花さんが現れるというのがスタンダードな伝承だ。しかしシンプルな怪談が故に、地域や学校ごとに伝わっている呼び出し方や現れ方は様々である。

元々は1940年代の話として、松谷みよ子著『現代民話考7』に岩手県の怪異として花さんが紹介され、本格的に流行し出したのは1980年代に世の中で学校の怪談ブームが起きたことからである。トイレのじめっとした独特の雰囲気と個室という逃げられない空間、さらに使用頻度が高い場所ということもあり、伝承しやすい怪異として爆発的に広まったのでは無いのかと考える。

80年以上も前から語り継がれ、今もなお子どもたちの心を掴んでいる彼女は、このレベルになると怖い怪異というよりも、学校で子どもたちを見守る守り神のようにも思える。





AMERICA

ブラッディ・メアリー

Bloody Mary

KAI

No.18

Habitat
Mirror (鏡)

Type
Human (人間)

Threat Level



3回名前を呼ぶと這い出てくる 血に塗れた恐怖の女王様

鏡の前で「ブラッディ・メアリー」と3回呼ぶと、名前の通り血まみれになった女が鏡の中から出現するという恐ろしい儀式。アメリカの子どもたちがお泊まり会などでチャレンジする肝試しのようなもの。

この妖怪の正体は、イギリスのメアリー1世（1516-1558年）のことだと言われている。その理由としては彼女がプロテスタントを苛烈に迫害し、約300人程を処刑したことから血まみれの女王「ブラッディ・メアリー」として恐れられ、後にその名は真紅のトマトジュースを使ったカクテルにも受け継がれ、血のように真っ赤なその見た目が、さらに不気味な伝承を強めている。

興味本位で遊んでいる若者も多いようだが、安易に手を出すものではない。精神的に不安定な状態で挑めば、恐怖が増幅し、思いもよらぬ怪異や心の闇を呼び寄せてしまうかもしれない。



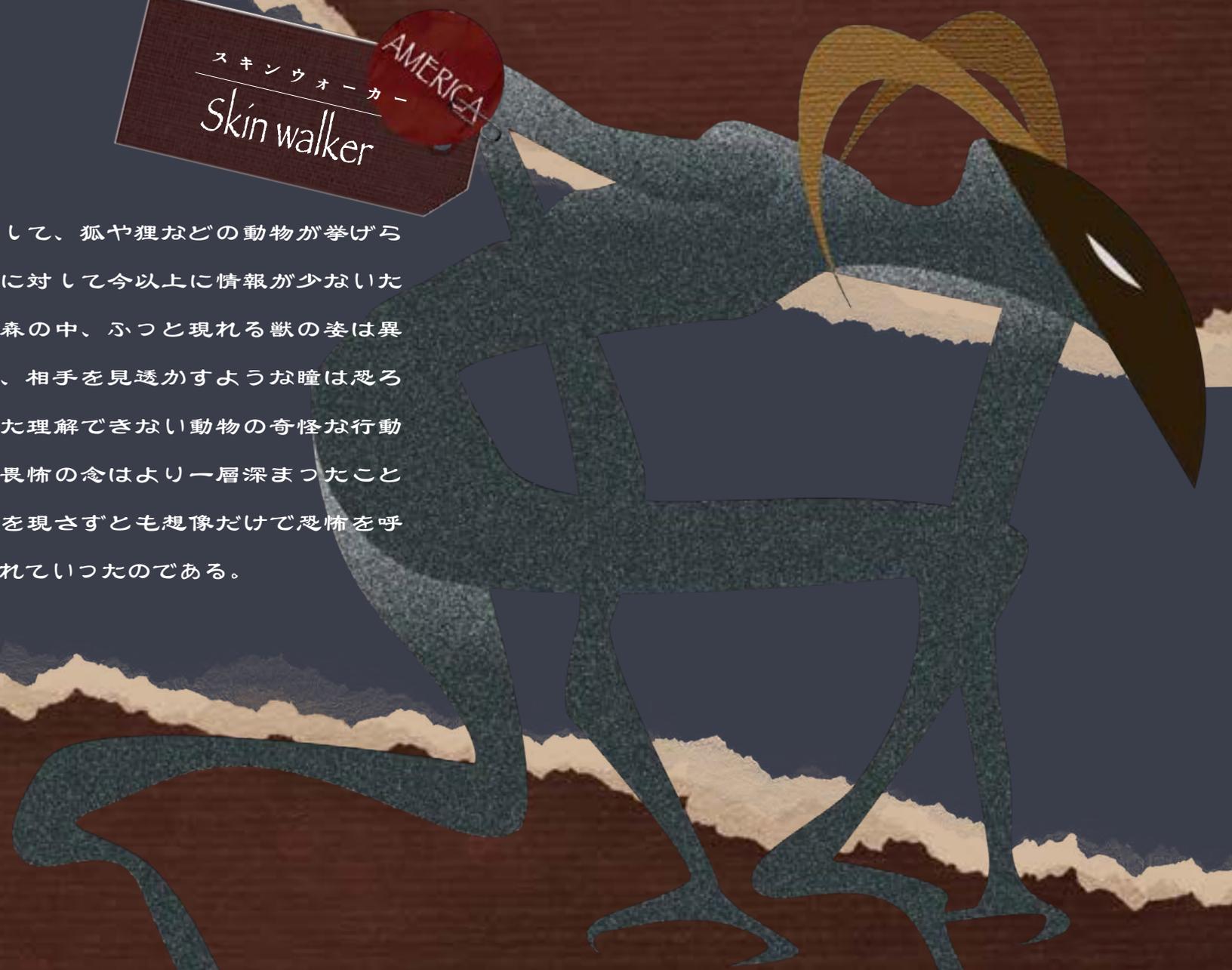
人に化け 動物に化け

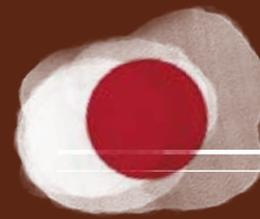


姿 を変えて人をたぶらかす存在
れる。昔は正体のわからない
め警戒していた。道に迷った時の暗
様であり特に狐や狼などの艶美な獣
しく危険にも思えたであろう。こ
うや鳴き声を見聞きしたことで彼らへ
だろう。闇に溶け込むその存在は、
び起こし、やがて怪異として語り継



として、狐や狸などの動物が挙げら
者に対して今以上に情報が少ないた
い森の中、ふつと現れる獣の姿は異
の、相手を見透かすような瞳は恐ろ
した理解できない動物の奇怪な行動
の畏怖の念はより一層深まったこと
姿を現さずとも想像だけで恐怖を呼
がれていったのである。





JAPAN

ようこ

妖狐



姿を変え、人間の心を惑わす 妖しき獣

狸と並び、人間に化けてたぶらかす狐。特に美しい女に化ける事が得意とされており、男どもを騙す話が有名。一方、人間に恩返しをするという話も残っており、狐によって十狐十色だと考えられる。

種類もさまざまで、千年かけて尻尾が9本になる有名な九尾の狐から、幸福をもたらしてくれる白狐、最も偉い地位に君臨する天狐など、色々な姿形で伝えられている。狐が女に化けるというイメージが現代でも伝承されているのは『日本霊異記』の中の妻の正体が狐だった話や、『殺生石』の中の九尾の狐が美女に化けて帝を惑わせ、正体を見破られた話がある。

今では狐が人に化けるなど信じる人はほとんどいない。それでも稲荷神社にどこか畏れを抱く感覚は残っており、狐を崇め祀る心は今も日本人のどこかに刻まれているように思える。





AMERICA

スキンウォーカー

Skin walker

KAI
No.20

姿を変え、人間の心を惑わす 妖しき獣

ネイティブアメリカンのナバホ族から伝承され受け継がれる、魔術を使い、狼やコヨーテ、フクロウ、クマなどの動物に変化する魔女。

ナバホ族の間では今でも語ること自体すらタブーとされているスキンウォーカーだが、夜間に現れて人々を脅かしたり、病気や不運をもたらすことがあり、呪術や黒魔術を使う力も持つとされるため、村人たちからは大変恐れられた。ナバホ族の間ではタブー視されていることもあり、その存在は秘密めいた怪異として扱われている。しかし現代では、スキンウォーカーはインターネット上で爆発的に広まっており、ミームや都市伝説の題材としても人気を集めている。

これぞアメリカの都市伝説、という題材で、調べればどの映像にもオカルト研究家たちの並々ならぬガッツが滲み出しており、その熱気に思わず引き込まれてしまう。筆者的には、この妙にアツい都市伝説がたまらなく好きだ。

Habitat
Southwestern
america (アメリカ南西部)

Type
Beast (獣)

Threat Level



KAI note 2

日本とアメリカの降霊道具について

こっくりさん

日本では19世紀末から伝わる、狐の霊を呼び出すための儀式道具。紙に「はい」「いいえ」「鳥居」「あいうえお...」「0～9」などの文字や記号を書き込み、中央に硬貨を置いて「コックリさん、コックリさん、おいでください」と唱えると、参加者の三人が人差し指を添えた硬貨がゆっくりと動き出し、質問に対して答えを出すと言われていた。霊との対話のようだが、Ouija board同様、実際には参加者の無意識の筋肉が微細に動いてしまう潜在意識による作用が強いという説が有力である。



アルファベットや数字が書かれた盤の上で、参加者が指を添えた「プランシエット」と呼ばれる指し棒が動き、質問への回答を文字として示す仕組み。1890年代初頭、アメリカでは「楽しいゲーム」として商品化され、誰でも気軽に楽しめる娯楽として瞬く間に流行したが、2016年、南米ペルーの学校で「ウィジャ」で遊んでいた80人の小中学生が、痙攣や錯乱、失神を起こして病院に運ばれる事件が話題となった。これは集団催眠が原因と考えられている。



Ouija board

プランシエット

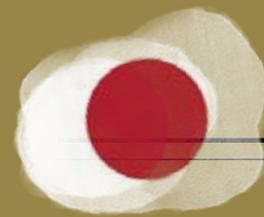
夜の 侵略者



両者は共に男性を標的とする妖怪
る。しかし、その背景には文化
る。日本では、歴史的に男性優位社会
てはある程度の寛容さがあり、飛縁魔
的側面が強い。一方、タンザニアのポ
が強くタブー視される社会で生まれ、
して語ることで、社会的な恐怖や規範
まり、同じ「男性を襲う」という共通
訓的な意味合いを持つのに対し、ポポ
いた象徴的存在であり、その根本は真

という点で一見似ているように見え
的・社会的な差異が色濃く現れてい
の中で、特に男性同士の関係に関し
の伝承は夜遊びや禁忌を戒める物語
ポバワは宗教的な観点から、同性愛
男性に対する性的暴力を怪物の姿と
の投影が色濃く反映されている。つ
点があつても、飛縁魔が物語的・教
バワは宗教的・社会的抑圧と結びつ
逆なのである。





JAPAN

ひえんま

飛縁魔

KAI
No.21

夜遊びの代償は 命そのもの

江戸時代の奇談集『絵本百物語』に登場する若い美女の形をした妖怪。男の寝所へふわりと忍び込み、甘い気配で心を引き寄せ、やがてその精気や血を吸い尽くすとされる。

初めはただ美しい女に抱かれるような、恍惚にも似た安らぎが訪れる。しかしそれは、飛縁魔が体温を奪うための罠にすぎない。彼女の本性は精気のみならず生き血まで吸い取り身を滅ぼし、家まで崩壊させる。朝になる頃には、まるで長い病に伏したように衰弱し切った男の姿が残る。ひどいときには、そのまま息を引き取ることさえあったという。

夜遊びをして痛い目を見た男たちが、自分の行いを正当化するため「飛縁魔に憑かれた」と語ったのかもしれない。あるいは、昔の偉い男がよその女に手を出したことで家庭が崩壊し、その責任を妖怪の仕業に押しつけた例もあったのではないだろうか。





TANZANIA

ポポバワ

Popobawa

KAI
No.22

眠る男たちに忍び寄る 怪物の囁き

タンザニアの夜に忍び寄るポポバワは、翼と爪、ひとつの目を持つ妖怪だ。空を舞い、夜ごと人々の眠りを侵すという。特に男性を標的とし、精気を奪い、精神と肉体を衰弱させる力を持つとされている。

主に男性に性的暴力を加えると伝えられたことから、1990年代にはザンジバル諸島のウングジャ島や本国まで巻き込む大規模な集団ヒステリーが発生した。しかし実際に襲われたと証言した者はおらず、睡眠中の幻覚、集団心理が騒動を拡大させたと考えられている。また、東アフリカのイスラムの宗教的・心理的背景として同性愛が強くタブー視されていたことから、同性に対する性的暴行をポポバワのような怪物に例えて語った可能性もある。

こうした妖怪は、単なる恐怖ではなく、人々の罪や欲望、当時の社会的タブーを映す鏡のようなものにも思える。

Habitat
House (家)

Type
Bat (コウモリ)

Threat Level

●●●●

怠け者と 嗅ぎつける



NAMAHAGE

なまはげ

人は、どうしても怠けてしま
めに生まれたのが、凶悪であ
る怪物たちである。しかし、その怠
ではなく、暖を取りすぎてできた火
餌として食らったりすることもあつ
段として、妖怪や怪物が生み出され、
たのかもしれない。

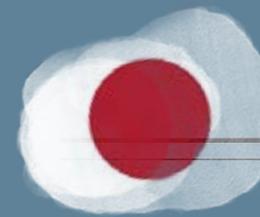


キキーモラ

Kikimora

う生き物だ。そんな怠惰を戒めるた
りながらもどこか優しさを感じさせ
けた代償というのは決して緩いもの
傷の跡をはいだり、場合によつては
た。昔から、働かない者を戒める手
人間の労働を助ける役割を担ってい





JAPAN

なまはげ



恐怖を象徴とする鬼でありながら
家に福を呼び込む、秋田の来訪者

「泣く子はいねがあ〜！悪い子はいねがあ〜！」と叫びながら秋田県・男鹿市を練り歩く、恐ろしい顔で、大きな出刃包丁を持つなまはげ。あまりの怖さに子供達は泣き叫びながら逃げ回る。

秋田といえばなまはげと言われるくらい日本で有名な妖怪だが、起源は、働かずに暖炉の前でずっとへばり付いて暖まっている怠け者にできた「火斑（もなみ）」を剥ぎに来る、つまり火斑剥ぎが訛って「なまはげ」という名前になった。なまはげはただ怠けているものを叱るために家々を回っているのではなく、厄災を払ったり、家族の様子を見に来たりといった秋田の人にとってはとてもありがたい存在でもある。

今でも毎年12月31日の大晦日には男鹿市全域で行事が行われ、更に2月にはお祭りとなまはげを組み合わせた行事も行われている。

出没
秋田の街中

類
鬼・神

脅威度





RUSSIA

キキーモラ

Kikimora

KAI
No.24

Habitat
House (家)

Type
Fairy (妖精)

Threat Level



働き者には幸福を、怠け者には罰を 家の秩序を保つ幻獣

目立つ事を嫌っているためふだんは静かに暮らしているが、家が散らかっている事を嫌い、怠けて家事をしない者を食ってお仕置きをする。

顔は狼、口は鳥、足は鶏といった、複数の動物を組み合わせた奇怪な姿をしているキキーモラだが、この見た目にもいくつかの説がある。基本的には痩せて腰が曲がっているため、老婆とされることが多い。しかし、キキーモラには様々なタイプが存在し、沼地に住み海藻を身に纏った老女の姿をしているものや、逆に年を取らない少女の姿をしているとも言われており、その正体は謎めいている。

怠ける者=悪で、勤勉に働くもの=良しとする社会規範を怪物に頼ってまで民衆の間に浸透させようとしたのは世界共通である。



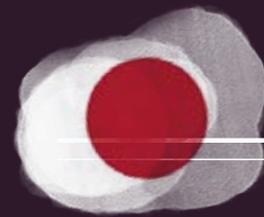
混ざり 合う獣



人は、得体の知れないものを恐る存在だ。平安時代の御所に現鵺は、その典型である。人々は説明の徴を寄せ集めた怪物として表現し、混ようとしたのだ。一方で、合成獣は憧憬の鋭さと獅子の強さを併せ持つ、理動物の特質を組み合わせることで、人成獣はそれを倒す英雄をより偉大に見足りない、異形の怪物だからこそ、英たのだろう。



れ、その恐怖に輪郭を与えようとする、不吉な鳴き声で天皇を悩ませたつかない不安を、さまざまな獣の特純とした恐怖を理解可能な姿に変えれの対象でもあった。グリフォンは想化された力の象徴である。異なる間は完璧な強さを夢見た。また、合せる存在でもあった。普通の獣では雄譚はより鮮やかに輝き語り継がれ



JAPAN

ぬえ

夜鶇

KAI
No.25

出没
京都

類
異形

脅威度



平安時代に天皇を脅かした 奇妙な鳴き声の正体

あの有名な『平家物語』に登場し、猿の顔、狸の胴、手足は虎、蛇の尾を持ち、「ヒョーヒョー」と奇妙な声で鳴くとされている。

『平家物語』には、平安時代末期、天皇の近くで毎夜不気味な鳴き声が聞こえ、怯えた天皇がついに病に伏してしまったと記されている。その原因を探るため、弓の名手・源頼政が呼ばれ、鳴き声の主である鶇を退治した。この鶇は想像上の生き物だと言われているが、鶇の独特な鳴き声は、実はトラツグミという鳥の声で、それを恐れた当時の人々が怪物として語り始めたのではないかと考えられている。

秋冬期は人家近くの雑木林や公園などでも「ヒョーヒョー」という笛のようなトラツグミの鳴き声を聞くことができる。



トラツグミ



GREECE

グリフォン

Griffin

KAI

No.26

神々に仕え、財宝を護る 空と大地の守護獣

ギリシャ神話に登場する、鷲の上半身、ライオンの下半身で、神々に従える守護者の役割を持ち、その勇敢な姿から勲章の図案としてグリフォンを使用することが多い。

そもそもグリフォンが最初に登場するのはギリシャ神話ではなく、紀元前 3000 年頃、古代オリエントを起源として扱われていた。そして、ヘラクレスやペルセウスのように特定の物語に登場するわけではなく、神々や財宝を守るために側にいる守護獣というポジションである。

中世ヨーロッパの紋章、クリミア共和国の国章、また盾やメダルの装飾として、その威厳と忠誠心を象徴してきた。守護者としての力を視覚化するモチーフとして、時代を超えて重んじられている。

クリミア共和国 国章



Habitat

Burrow (巣穴)

Type

Chimera (キメラ)

Threat Level



水に引き摺り込む

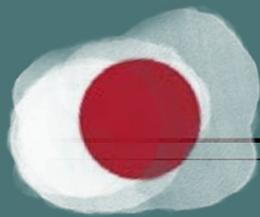


水 辺には、子どもや家畜を水中に
童も、北欧のノツケンも、その
通して水難 = 水の危険を象徴してい
くせば助けられるとも言われる。一
きつけ、油断した者を水底に引き込む
怖の対象ではなく、人間との距離感や
辺での遊びや油断からの危険を警告す
の守り手になり、ノツケンは音楽や踊
ある。こうして、恐ろしい力を持ちな
の二面性を併せ持つ存在として、文化



引きずり込む妖怪が棲む。日本の河
姿かたちは文化によつて違えど、共
る。河童は、地域によつては礼を尽
方、ノツケンは美しい音楽で人を惹
誘惑の精霊だ。どちらも、単なる恐
関わり方を教える存在でもある。水
るだけでなく、河童は農作や水仕事
りで人々に楽しみをもたらすことも
がらも、危険と癒し、警告と楽しみ
を越えて語り継がれている。





JAPAN

かつば

河童

KAI
No.27

ひょうきんな顔の裏に隠れる 水の住人の本性

日本の妖怪の代表といえば河童と言われるほど有名な存在である。川に棲みつき、頭にはお皿、きゅうりを好むひょうきんなイメージが現代に伝わり親しまれている。

実際は、貧困で子供を抱えきれなくなった親が子どもを殺す「間引き」で流された水死体がこの河童とする恐ろしい説もある。そしてこの間引きした事が知られないように「これは河童だ！」と嘘をついていたという。皮膚が腐って、緑色に変色し、頭皮は剥げ、体がガスで膨張したことによって背中の中羅と見間違えたのではないのかも言われている。こうしたことから「河童は子どもを襲う存在だから川に近づくな」と人々を川から遠ざけるために使われていたのかもしれない。

時代とともに河童のイメージは変化し、現代では子どもに人気の愛嬌ある妖怪となって親しまれている。



出没
池・川

類
人間に近し

脅威度





NORDIC

ノッケン

Näcken

KAI
No.28

美しいバイオリンでおびき寄せ 人を沈める麗しい精霊

ノッケンは、主に北欧の伝承に登場する水辺の精霊・怪異で、水辺でバイオリンやフィドルを奏で、人を引き寄せるとされる。その旋律は美しく、聴く者を魅了して動けなくさせたり、時には水中へ誘い込むと言われるが、必ずしも悪意に満ちた存在というわけではない。伝承には、ただ人を喜ばせるために演奏する逸話も残っており、ノッケンの性質は善と悪の両面を持つことがわかる。

さらに、ノッケンの演奏で踊る男女の像が描かれた資料も存在する。音楽に身を委ね、怪異に導かれながらも楽しげに舞う人々の姿は、ノッケンがもたらす魅惑と危険の二面性を象徴している。

こうして見ると、ノッケンは単なる恐ろしい水辺の怪ではなく、音楽を通じて人間の心を揺さぶる存在として描かれ、妖怪や精霊の中でも特に美しく、危うい存在と言えるだろう。

Habitat
waterside (水辺)

Type
Spirit (精霊)

Threat Level

● ● ●



可愛らしさの裏に在るもの



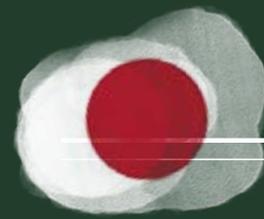
猫

は古くから人間の生活に深く関てきた。夜行性で光る目、気ました猫の特徴は、人間の想像力を刺激し恐ろしい存在として映る。だからこデルとして取り上げられ、物語や伝承トマンモーネの共通点は、単なる恐怖に自然に入り込む存在であることだ。そり姿を消す習性は、妖怪化の素材と目に見えないところで動くその姿は、すきつかけとなつたのだろうか。



わり、その存在は日常に彩りを加えぐれな性格、静かに忍ぶ動き、こうし、身近でありながらも不思議で少そ、猫は世界各地で妖怪や怪物のモに息づいてきたのだ。化け猫やガツの対象ではなく、人々の暮らす空間猫の気まぐれさや忍び足、夜にひつして極めて都合が良かった。人間の日常に小さな不思議や怪異を生み出





JAPAN

ばけねこ

化け猫

KAI
No. 29

出没
街中・路地

類
猫

脅威度



不意に現れる怪しい 夜の旅人

化け猫は、年を経た猫が妖怪化した存在として日本の伝承に登場する。長く生きた猫が人間に害をなす力を持つようになった、という言い伝えが残っており、特に人を驚かせたり、呪ったりする恐ろしい力を持つとされる。猫の妖怪には猫又もあるが化け猫と猫又の境界は曖昧とされている。

犬よりも猫の方が妖怪らしく感じられるのは、その鋭い目つきと暗闇で光る瞳に理由がある。夜に目が光る猫を見れば、たとえ日中は可愛らしい存在でも、不気味で妖しい印象を与えるだろう。化け猫や猫妖怪の伝承が多いのも、こうした視覚的な特徴が、人間の恐怖や想像力を刺激するからにほかならない。

また死に際を人間に見せずにひっそり家を出ていく習性も、猫又の特徴を描く上で都合の良い要素となった。人間の目に触れずに姿を消す猫の性質は、妖怪化した際の神秘性や不気味さを強調するのにぴったりで、化け猫や猫又の伝承が生まれる背景の一つとして考えられるのだ。



ITALY

ガット・マンモーネ

Gatto mammone



生意気な子どもを狙う 不気味で邪悪な巨大猫

ガットマンモーネは、イタリア南部に伝わる伝説の大型ネコ科の怪物である。巨大な体と鋭い爪を持ち、悪戯をする子どもを好んで襲う凶暴な捕食者として描かれることが多い。夜道に現れたこの怪物の目に映るのは、好奇心や無邪気さに隠れた危うさであり、子どもたちはその犠牲になりうる存在だ。

名前に込められた意味も興味深い。名前の「Mammone」は、古代メソポタミア文明に起源を持つ悪魔「マモン」を指すとされ、ただの大きな猫ではなく、人間の倫理や欲望、戒めと結びついた象徴的存在であることを示している。

不気味な猫のイメージは、単なる地方伝承に留まらず、後世の文学や物語にも影響を与えたとされる。例えば、ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』に登場するチェンパ猫や、童話『長靴をはいた猫』の大胆で奇妙な猫の描写には、ガットマンモーネの影響が指摘されている。



恐怖らぬ笑わぬ どこか憎めない

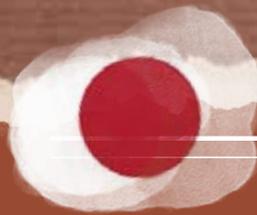


醜さを象徴する妖怪は、ただ奇妙人間が抱く美への執着や、その存在ではないかと考えられる。人間ど、その反動として美の基準から外姿を成す表す。ぬっぺふほふが曖昧でも、スクオンクが自らの醜さを嘆いていものに抱く恐れや嫌悪といえる。そい。外見や見た目への価値観がより強言葉すら生まれ、評価が数値化されてこうした悲しい妖怪が再び生まれても



な造形から生まれたのではなく、裏側にある精神的な影から生まれ社会が美しいことを強く求めるほれたものが物語の中に押し出され、不完全な肉の塊として描かれるの泣き続けるのも、人間が美しくおの感覚は、昔に限ったことではなく可視化され、ルッキズムと言ってしまう現代の日本では、むしろおかしくないだろう。





JAPAN

ぬっぺふほふ

KAI
No.31

出没
廃寺
類
肉塊・死体
脅威度
○○○

じつと見てはいけない 顔のない徘徊者

肉塊のような妖怪。人の形をしているとも、していないとも言われ、共通しているのは 顔のない、ぶよぶよした肉のかたまりという不気味な見た目。

江戸時代の絵巻や随筆に姿は描かれているのに、その正体や来歴にはほとんど触れられていない。顔のない肉塊のような姿だけがぼつんと残り、ただ「いた」とされるだけで、その曖昧さがかえって不気味さを増幅している。直接的な害はなくとも、見るだけで心を削られる妖怪といった位置づけなのかもしれない。また、その起源については「人肉の腐乱が妖怪化した」「寺に捨てられた脂や皮が動き出した」「死者の怨念の塊」など諸説あるが、いずれも断片的で確証はない。存在の輪郭だけが歴史に残り、中身は誰にも分からない。

不気味なのに、ぬっぺふほふ自身はあっけらかんとして歩くだけ。その無関心さが、ホラー映画とは違うじわりとした恐怖を生む。



AMERICA

スクオンク

Squonk

KAI
No.32

Habitat
Grassy area
Type
Monster
Threat Level

自分の醜さに泣き続け 最終的には己が涙となつて散る

スクオンクは、アメリカ・ペンシルベニア州のヘムロック森に棲むといわれる怪物。その姿は醜くてみすぼらしいため、いつも自分の容姿に嘆いて泣いているとされる。皮膚にはイボやしわがあり、それを恥じるあまり、森の中でひっそり泣き続けている。

誰かに捕まえられそうになると、恐怖と恥ずかしさがピークに達し、涙で身体が溶けて水になって消えると言われる。夜になるとスクオンクは、光に照らされた水面に醜い姿が映らないように、ゆっくりと動いたり、巣穴にじっと潜ったり身を潜め、夜中にはスクオンクが静かに泣いている声が聞こえるらしい。

この可哀想な怪物を広めようと、アパラチアの民間伝承と UMA ファンがペンシルベニア州のジョンズタウンに集まり、2023年「スクオンカパルーザ」を初開催した。するとこれが評判を呼び、今では毎年開かれるほどの愛されたUMAとなっている。

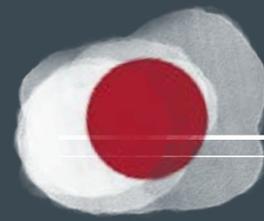
悪と統括する権力者



単なる怪物としての強さだけでは
惹きつける圧倒的なカリスマ性
下を従え、組織的に行動することで、
威を生み出す。また両者は物語の中
で。酒呑童子は源頼光に、ランダは聖
画や映画と同じように、英雄の活躍を
かれる。部下を統率し、人間社会に干
に生み出し、伝承の中で欠かせない存

なく、^{しゅてんどうじ}酒呑童子もランダも、人々を
を持つ。彼らは自身の力と魅力で部
個々の戦闘力をはるかに超える脅
ヒーローと戦う「悪役」の役割も担
獣バロンに立ちあがり、現代の漫
際立たせるヒーロー役の存在として描
渉する姿は、恐怖と畏敬の念を同時
在感を放っているのである。





JAPAN

しゅてんどうし

酒呑童子

KAI
No.33

出没
京都

類
鬼

脅威度



妖怪でありながら、どこか人間臭い 鬼界の遊び人

京都府北部・大江山に棲んでいたとされる鬼の頭領。名が示す通りの酒好きで、配下の鬼たちを従え都へと降りては、人々を脅かし、娘たちをさらうなど好き放題にふるまった暴虐な存在。

狩野元信の『酒呑童子絵巻』によれば、その暴虐っぷりに朝廷はついに源頼光に討伐を命じた。頼光たちは知恵を巡らし、童子を誘い出すための策略を練る。都に美酒を並べ、美女を送り込むと、欲に目がくらんだ酒呑童子はついにその罠にかかる。捕らえられた童子は、激しい戦いの末に討たれ、その暴虐はついに終息する。血しぶきのなか、斬り落とされた首が宙を舞い、頼光の兜に噛みつく場面は、酒呑童子の規格外れの強さを象徴している。

この絵巻は、重要文化財として、サントリー美術館（東京都港区）に所蔵されている。2025年4月29日～6月15日まで展示され、絵巻に描かれた酒呑童子の荒々しさが色鮮やかに目の前に再現された。



狩野元信 (1476年～1559年)
「酒呑童子絵巻 下巻」



INDONESIA

ランダ

Rangda

KAI

No.34

Habitat

Bali (バリ島)

Type

Witch (魔女)

Threat Level



終わらない戦いの中で揺れる 善と悪

善と悪の均衡を象徴する恐ろしい魔女の女王として知られ、聖なる獅子バロンと対峙し、その戦いはどちらが勝つこともないまま永久に繰り返される。

ランダには人間を惑わせ災いをもたらす力があり、黒魔術によって病や不幸を呼ぶとも言われ、子どもを食いちぎる恐ろしい姿が伝えられている。また、彼女には手足となって動く使い魔や、村に災厄をもたらす眷属たちが従っている。しかしその一方で、子に乳を与える母としての側面を見せることもあるという。誰かの優しさに触れて心が動けば、ランダは人を傷つける存在から一転して、癒しの力を発揮することもある。そんな二面性が語られてきた。

バリ島の寺院では「バロンダンス」として公演も行われており、観光客向けに手直しが加えられつつ、日常の風景として息づいている。寺院見学とセットで毎日上演されるこの形式は、伝統を見せるための演出でありながら、文化を持続させる現代の工夫でもある。



異形は首から始まる

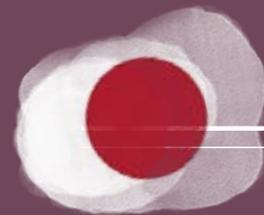


首

や頭部が身体の制約から離れ、
る。ろくろ首は伸びあがった長
れた頭部が夜空を漂う。それぞれの造
たものが突然、人間ではあり得ない動
生まれだ背景には、現実の出来事を見聞
首は、夜の闇の中で首つりの遺体が揺れ
語られたのではないかという説もある。
出しになつていっているという異様さから、
な記憶が誇張され、物語として残った
揺らぐ瞬間こそが、怖さの核心となつ



独立して動くという共通の特徴があ
い首で、またガスーは体から切り離
形は異なるものの、人間の造形をし
きを見せる。また、こうした伝承が
違えた可能性も指摘される。ろくろ
て見えたことが、長い首の怪として
またガスーに関して、内臓が剥き
病や事故で露わになつた体の断片的
可能性がある。人間と異形の境界が
て伝承されてるのかもかもしれない。



JAPAN

ろくろ首

KAI
No.35

出没
街中・屋内

類
人間に近し

脅威度

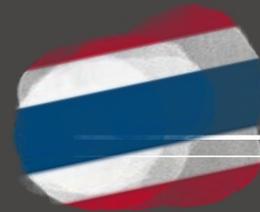


寝静まった家を抜け 首だけが闇を彷徨う

普段はごく普通の人間の姿をしているが、夜になると首が異様に伸び、暗闇の中でひょろりと揺れ動く。それがろくろ首である。名前の由来は、陶芸で使う轆轤ろくろや井戸の滑車を指す轆轤ろくろになむとされる。

この妖怪の正体については、魂が体から離れて漂う「抜け首（ぬけくび）」の現象が誤って伝わった結果という説だ。そもそも、ろくろ首の原型は体から頭だけが分離する抜け首にあり、それが怪異として物語化されたとも考えられている。また、ろくろ首の姿そのものが怪物の実態ではなく、人々が経験した幽体離脱の記憶や夢の中の体験が形になったものではないか、そんな解釈も残されている。

首が伸びるという単純でわかりやすい恐怖と、どこかコミカルな印象が日本の妖怪文化を代表する存在として今も多くの作品に登場し続けている。



THAILAND

ガースー

Krasue

KAI
No.36

Habitat
City (街中)
Type
Human (人間)
Threat Level
●●●●

さまよ 首と内臓だけが宙を彷徨い 血肉を求める女

夜に現れる幽霊のような怪異。特徴的なのは、頭部と内臓だけが体から離れて飛び回る姿。昼間は普通の人間として暮らしているが、夜になるとその正体を現わす。

首から上の頭部と内臓だけが体から離れ、宙を漂いながら血や生肉を求めて徘徊する姿は、目撃した者に強烈な恐怖を与える。この妖怪の背景には、女性や出産、生命の危うさにまつわる民間信仰や恐怖が色濃く反映されている。村人たちは、夜間にガースーが現れることを警戒し、家畜や食べ物を守ることで日常の安全を保った。夜の闇に浮かぶ頭部と内臓の姿は、直接的な害を加えるわけではないものの、その不気味さだけで村人の心を締めつけた。

現代では都市伝説やホラー映画、民俗学の題材としても知られ、東南アジアの幽霊文化を象徴する存在として人気を得ており、タイではロマンチックホラー映画、『インヒューマン・キス』（2019年 タイ）も制作され、多くの人々に愛されている。

あとがき

妖怪や怪物、怪異と呼ばれる存在には、確たる信憑性はなく、実在を信じる人は決して多くないだろう。しかし、彼らの本質は真偽よりも、その誕生の背景に潜む人間の感情や歴史にこそ宿っていると、私は考えている。

その姿かたちや生い立ちを辿ってゆくほど、時代や国境を越えて多くの情報が折り重なり、そして彼らが今なお、親しまれているという事実に触れるたび、私はむしろ人間の側にある物語の奥深さを感じずにはいられなかった。

本書の制作を通して、怪異とは常に人々の不安や祈り、土地に積み重ねられた記憶と結びついていることに改めて気付かされた。彼らは決して過去に置き去りにされた存在ではなく、かたちを変えながら、今も静かに私たちの隣を歩いているはずだ。

豊田 純礼



References

ムー web 捨てられた老婆の、しぶといその後とは？ 本当は怖い「姥捨て山」 https://web-mu.jp/history/37544/

CREATIVESPIRITS https://www.creativespirits.net/coco-folklore/?utm_source

Wikipedia ラ・ジョローナ https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A9%E3%83%BB%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%8A

歴史人 亡くなった妊婦が、棺の中で出産… 各地で見られる「産女（うぶめ）」怪談の真相とは https://www.rekishijin.com/16150

Wikipedia 産女 https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%94%A3%E5%A5%B3

whyislam イスラム教におけるジン：信仰、現実、そして神話 https://www.whyislam.org/ja/jinn-in-islam-belief-realities-and-myths/

ダ・ヴィンチ Web 「トイレの花子さん」の出自が明らかに! !? 日本の怪異をビジュアル解剖! ! https://ddnavi.com/article/d551799/a/

Wikipedia トイレの花子さん https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%88%E3%82%A4%E3%83%AC%E3%81%AE%E8%8A%B1%E5%AD%90%E3%81%95%E3%82%93

美味しいお酒研究所 https://www.shiawasewine-c.com/apps/note/40323

Wikipedia 海坊主 https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%B7%E5%9D%8A%E4%B8%BB

器からAIまで一発明発見の年表と世界記録 海坊主の正体はあの動物の死骸だった？妖怪の正体3つを考察！ https://hatsumeihakken.com/umibouzusyoutai/

東スポ WEB 名前を呼ばれると引き下がる 〴〵鳥、のような未確認生物「ハフグファ」 https://www.tokyo-sports.co.jp/articles/-/10645

ナゾロジー 神話の海獣ハーヴェグーヴァの記述が「2011年に初めて報告されたクジラの特異な食事風景」と一致! ? https://nazology.kusuguru.co.jp/archives/122689

THE GATE 【なまはげ】ってどんな行事？経験者が語る知られざる裏側とは？ http://thegate12.com/jp/article/375

nippon.com 河童（かっぱ）：水の恐怖を体現したおぞましき妖怪 https://www.nippon.com/ja/japan-topics/b02505/

和楽 web 河童とはどんな妖怪？伝説と正体、きゅうり好きな理由も調べてみた！ https://intojapanwaraku.com/rock/culture-rock/11103/

THE GATE 【付喪神】とは妖怪それとも精霊？その正体や種類に迫る！ https://thegate12.com/jp/article/427

Wikipedia エンフィールドのポルターガイスト https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%83%95%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%89%E3%81%AE%E3%83%9D%E3%83%AB%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%82%B9%E3%83%88

ドイツ歴史探訪 【ドイツの伝説】ケルンの人々を助けるかわいい小人たち https://cookie-blog.com/%E3%82%B1%E3%83%AB%E3%83%B3%E3%81%AE%E5%B0%8F%E4%BA%BA/

歴史人 【じつは残酷な伝承】座敷わらしの正体は「口減らし」で殺された子供!? なぜ幸運をもたらすのか？ https://www.rekishijin.com/12896

マシュー・マイヤー・ネット 今日の妖怪：けうげげん https://matthemeyer.net/blog/2010/10/16/a-yokai-a-day-keukegen/

Wikipedia 毛羽毛現 https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%AF%9B%E7%BE%BD%E6%AF%9B%E7%8F%BE

くりぶと UMA 大全 世界の奇妙な住人たち 研究者は語る、オーストラリアン・ビッグフット「ヨーウィーは実在する」 hhttps://www.crypto-f.com/2020/07/blog-post_20.html

ムー web 凶暴化する獣人ヨーウィーの連続襲撃事件を追う！ / 並木伸一郎 https://web-mu.jp/paranormal/10334/

ムー web 都市伝説ミームとなったナバホ族の伝承「スキンウォーカー」のタブー／アリゾナ州ミステリー案内 https://web-mu.jp/history/50268/

nippon.com 狐（きつね）：美女に化けて男をたぶらかす不埒（ふらち）な妖怪 https://www.nippon.com/ja/japan-topics/b02508/

日光国立公園 那須高原ビジターセンター 九尾の狐伝説 https://nasu-vc.jp/archives/1830

Meet the Slavs Kikimora: Slavic Spirit and Witcher Monster https://meettheslavs.com/kikimora/

RUSSIA BEYOND ロシア民謡のキャラクター https://jip.rbth.com/arts/2013/05/16/top12_43021

和楽 web 鶴（ぬえ）は実在した!？ 鳴き声・姿・伝説で読み解く謎の妖怪の正体 https://intojapanwaraku.com/rock/culture-rock/9579/

ふじのーと 鶴（ぬえ）の異名をもつ「トラツグミ」ってどんな鳥？ https://www.yamanashibank.co.jp/fuji_note/fuji/toratsugumi.html

kimini ブログ 神話に登場する「グリフォン」とは？ 鷲の翼とライオンの体をもつ伝説の守護者を英語で紹介 https://kimini.online/blog/archives/92428

LA VALDICHIANA Racconti di veglia: il Gatto Mammone https://www.lavaldichiana.it/racconti-di-veglia-il-gatto-mammone/

Wikipedia Gatto mammone https://it.wikipedia.org/wiki/Gatto_mammone

ねこちゃんホンゴ 猫又はどんな妖怪？起源や化け猫との違い https://nekochan.jp/knowledge/article/3267

wikiHow The Ultimate Guide to the Squonk of Pennsylvania https://www.wikihow.com/Squonk

ムー web 世界で最も醜い UMA「スクオオンク」とは! !? けなげな生態にアメリカで人氣急上昇中! ! https://web-mu.jp/history/48931/

YOKAI.JP ぬっべふほふ https://yokai.jp/yokai/nuppefuhofu

EGUCHI HOLDINGS GROUP 【バリ島の伝承】聖獣「バロン」と魔女「ランダ」 https://eguchi-hd.co.jp/resolabo-bali-barong-rangda/

迷宮の世界へ イン・トゥ・ザ・ミラー 終わりなき善と悪の対決、バリ島のバロン・ダンス https://hat51.net/?p=9576

トラベル.jp 恐怖の世界遺産！「ロンドン塔」で絶対見たい至宝と幽霊 https://www.travel.co.jp/guide/article/33614/

和楽 web 日本の幽霊とは？誕生の歴史と「ひゅうどろどろ」の音の正体を解説 https://intojapanwaraku.com/rock/culture-rock/9932/

YOKAI MAGAZINE 火傷では済まない 飛縁魔（ひのえんま） https://magazine-yokai.wixsite.com/mysite/single-post/2017/10/12/%E7%81%AB%E5%82%B7%E3%81%A7%E3%81%AF%E6%B8%88%E3%81%BE%E3%81%AA%E3%81%84-%E9%A3%9B%E7%B8%81%E9%AD%94%EF%BC%88%E3%81%B2%E3%81%AE%E3%81%88%E3%82%93%E3%81%BE%EF%BC%89

くりぶと UMA 大全 世界の奇妙な住人たち 1990年代、島国を恐怖のどん底に陥れた悪霊 ～ ポポバワ https://www.crypto-f.com/

TOKYO ART BEAT 「日本でもっとも有名な鬼」酒呑童子とは何者か？ ふたつのはじまりに迫る「酒呑童子ピギンズ」展（サントリー美術館）学芸員インタビュー https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/shutendoji-begins-suntory-museum-of-art-interview-202504

「KAI 国境を越える妖怪図鑑」

著 者：豊田純礼

発行日：2026 年 1 月 23 日

発行者：文化学園大学

メディア映像クリエイションコース